



# 犬養景氣にあふられ 藏入米が一時に流出

## 移出米の検査俵数激増

平穀物検査所の本月中に於ける移出米の検査俵数は本日迄に六十口百十俵に達し去月中の六十三口、百卅五俵に比し接近を示して居るが締切迄には去月数を突破する見込充分にて是れは今迄倉入りをした儘先高を見越して居たのが政變に依る犬養景氣に煽られてこの時と許り一時に流出したものと

### 自作農創設資金 借入を協議

石城郡高久村では廿七日午前九時より村會を開き自作農創設資金借入れ及び明年度豫算其他に就いて協議する事になつた

## 平町入營者の 出發時間其他

- 平町明年度入營者に對し本日町役よりそれ／＼付添人及び平驛出發時間等を知したが出發期は左記の如く獨立山砲の一月八日の外全部九日出發である
- 鐵道一聯隊(一月九日午前九時四十五分發)
  - △五丁目船山孝次△横濱市中區本牧町近内勘藏(付添田人村長)
  - 電信第一聯隊(同上發)
  - △四丁目高木清一(付添三坂村長)
  - 飛行第五聯隊(同上發)
  - △下川原一七木村忠雄△六間門一七西鴻元三(付添大野村長)
  - 歩兵廿九聯隊(同日午前八時四十五分發)
  - △白銀町菊地二郎

- (付添高久村長)
- 近衛歩兵三聯隊(同上發)
- △紺屋町圓谷定一(付添三坂村長)

## 諸物價騰貴に連れ 出品米の入札好績

けふ平町農業倉庫にて  
三百卅一俵を處分

既報平町農業倉庫に開かれた平町外七ヶ村の俵米品評會は廿四日午前十時から出品米の共同販賣を行つた結果三等十八俵、四等百十五

## 民謡「平小唄」懸賞募集

高雅にして趣味に富み平町を平易に紹介し得るもの

- 一、入選賞典
  - 一等(一名)五圓 二等(一名)三圓 三等(一名)二圓 四等(一名)一圓 五等(一名)五十錢
- 二、審査員 追て發表す
- 三、募集締切 十二月末日
- 四、應募者ハ 平第一小學校内平町教育會又は常磐毎日新聞社民謡募集係へ申込みこと
- 五、注意 應募原稿は平町教育會の版權とす  
入選佳作は加除訂正することあるべし

獨立山砲一聯隊(一月八日午前八時五十分發)

△十正丁目岩崎達雄(付添ナシ)

兩河川が竣工 石城郡泉村地内寶珠院川及び玉川村住吉地内藤原川の改修

工事は何れも二十日竣工したがこの工事に約一万人の失業者が救済され、同時に地方部落民も少からず需された

## 往來

- △縣議井上茂作氏 本日午前五時四十二分發列車で福島へ
- △伏見平町長 右同

## 平町人事

- △回出生 紺屋町一八當時北海道函館市若松町一 祭主秀藏氏二男司郎
- △回死亡 二丁目三五 長瀬悌八(二四)
- △堤ノ内二三 當時相馬郡小高町字南小高深谷八十八(一九)

## 平職業紹介所報告

- ▽求人部
  - △雜夫 五十才以下 通勤 日給八十錢(平某學校)
  - △トロ押 五十以下 通勤 日給六十錢 十數名(磐崎村某)
  - △石版工 三十才前後 通勤 日給一圓位(小名濱町某印刷所)
  - ▽求職の部
    - △雜夫 廿五才 尋一修 日給八十錢位(立町某)
    - △事務員 廿二才 中學四年修 經驗有(大町某)
    - △事務員 十八才 高女二修(大工町某)

## 上田科醫院

平町 南町 電話二一九番

## 保險は人生の鍵

### ◎山は富士、保險は三井

一、老へ行く先の慰安になさんとする人々は……三井生命へ  
 一、將來獨立の生計をなさんとする人々は……三井生命へ  
 一、遺族の爲に扶助金を造らんとする人々は……三井生命へ  
 一、人生は朝露の如し萬一に備ふる人々は……三井生命へ  
 一、貯金よりも最も有利なる方法を求めんとする人々は……三井生命へ  
 一、子息を完全に教育せんとする人々は……三井生命へ  
 一、今日は人の身明すは我が身と思ふ人々は……三井生命へ  
 一、保險加入の有無は自己信用の尺度と思ふ人々は……三井生命へ  
 一、保險は身の爲め國の爲め轉ばぬ先の杖花も實もある三井生命を御奨め致します

三井生命平駐在社員 福島 寛利  
 平町紺屋町二 三井生命代理店主幹 佐藤 永春

尺が長くて手ざわりよく  
洗濯しても色さめず何回  
編直しても大丈夫此糸こそ  
國産日本一

三井生命

三井生命代理店主幹 佐藤 永春

# 張り廻された網に

## 引ッ掛つた拐帯犯

### 貸倒れが八百五十圓と

### 人を食つた虚偽の申告

昨廿三日午後六時頃平署人  
事相談所へ自分は宮城縣柴  
田郡村田町の青物商

森田屋の店員で漆山  
彦作(三)と云ふ者ですが去  
月十日頃商用で愛知縣名古屋市の問屋に出掛た際自稱  
平町本町通り石炭商根津元  
(三)と云ふ者と知合ひにな  
り同人が石炭の賣込に來て  
失敗し歸國出來ぬと云ふの  
で八百五十圓を貸して別れ  
たが其後何回根津元宛に

### 返濟方の請求状を發

しても局より戻されるので  
不審に思ひ本日東京からの  
歸途平町に立寄つたが矢張  
り根津なる者が見當らぬか  
ら捜査して貰ひ度いと述べ  
立てたが彼の話の不審の点  
が多いので一應宮城縣警察  
部へ電話にて同人の身元を  
照會した處

### 意外にも同人は本月

二日前記村田町青物商森田  
屋の主人から青物の仕入に  
渡された五十圓と賣上代百  
五十圓、合計二百圓を持逃  
げし主人の訴へて同警察部  
が手配中の者と判明、直ち  
に彦作を取押してつたが係  
官もその人を喰つた遺り方  
にはあきれて居た

### 鬪鷄賭博の

### 片破れ檢舉

### 探査が嚴重

昨報山中で鬪鷄賭博開帳中  
を手入した際暗夜の爲め取  
逃した共犯者を平署は徹底  
的に檢舉すべく内偵中の處  
昨夜七時頃片破れと目され  
る内郷村字高坂坑夫長屋五  
〇號一〇二居住金澤辰之助  
(三)外村上申藏、本田一伊  
菱幸一の四名を檢舉し取調  
中であるが共犯者は此外に  
も未だ四五名ある見込であ  
ると

### 簡保相談所

### 來春は竣工

明年度から開設する事とな  
つた平局の簡保健康相談  
所は不況のため加入者募集  
難、途中解約者の激増等か  
ら一時實現を危ぶまれたが  
石局長の努力により漸く仙  
臺逓信局の認可を得是が敷  
地も當初豫約した田町高久  
病院脇の空地を利用建設す  
る事となり廿二日から工事  
に取掛つた

### 炭礦のボーナス

石城郡好間村古河炭礦では  
卅余名の職員に對し廿日最

雜夫等に對し最高日給の廿  
五分最低一圓、金額一萬  
八千七百圓を給與する事と  
なつた

### 慰問金打合

### 代表者協議

高十七割、最低十五割のボ  
ーナスを支給したが湯本町  
入山炭礦では大體十割程度  
の年末賞與を廿五日支給す  
る筈でまた同炭礦では千四  
百七十名の職工及び坑夫、

# が死線上の一家

## 奉公の娘に送金方を

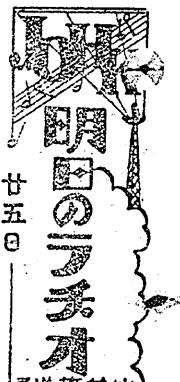
## 平署宛に書面で願出

凶作地方の青森北海道方面  
の民は今や飢饉線上にさま  
よひ死を待つ有様は名狀し  
難いその罹災民の一人北海  
道函館市駒下駄町無職青木  
マツ(三)は平町田町某旗亭  
にて仲働きをしてゐる長女  
さき(三)假名にこの年を越  
せないから幾らか送金され  
る様

### 話付けして下さいと書

面にて細々と書きつらねて  
平署によこしたのがマツ一家  
は夫新吉(三)と子供三人の  
五人暮であるが中風症にて  
働けない夫と幼い子供三人  
を抱へ深刻な凶作に襲はれ  
食ふ米なく食糧を得るため  
家財道具より

### 寝道具のはてまで賣



明日のラジオ

### 今晚の部

後六、〇〇 講演「東北の  
凶作地をめぐりて」加藤  
重六  
後六、三〇 講演「クリス  
マスの話」井深梶之助  
後七、三〇 「クリスマス  
の夕」  
後九、四〇 時報 全國ニ  
ユース 氣象通報  
明日の部

### 報豫氣天

今晚も明日も北  
西の風晴れたり  
曇つたり

前九、三〇 (子供の時間)  
獨唱と管絃樂 ミチルオ  
ケストラ  
前一〇、〇〇 記念講演  
伯備 二荒芳徳  
前一一、〇〇 時事講座  
「國際聯盟理事會の經過  
に就て」國際聯盟協會主  
事 赤松祐之  
後一二、〇〇 常磐津  
後一、二〇 放送舞臺劇  
「出雲崎の遊女」中村福助  
外

後〇、四〇 箏曲「神風」落  
合三東里外  
後二、四五 吹奏樂 海軍  
々樂隊 指揮樂長福喜多  
鎮雄  
後六、〇〇 (子供の時間)  
童話と童謡 仙臺コードモ  
研究会々員  
後六、三〇 時事講座「滿  
蒙鐵道物の由來と將來」  
岩崎重三  
後七、三〇 室内樂 シュ  
ナイゲートリオ  
後八、〇〇 講演「乃木將  
軍」桃川若營  
後八、三〇 長唄「大正の  
祭」吉住小桃次外  
後九、〇〇 獨唱と管絃樂  
(東京府下在原町新交音  
樂團演奏所より中繼)

### 少し宛 返濟してゐる

前記さきに警察より事情を  
傳へて送金する様にと願ひ  
出たもので同署にても非常  
に同情してさきを呼出し送  
金を辨濟されず仲働きと  
なつて

# 烈風に襲はれて

## 船から吹飛さる

## 海中に墜落して行衛不明

## 出漁中の椿事

石城郡四倉町漁業金田昇次  
郎所有の漁船に乗組員十一  
名をのせ廿三日午前二時頃  
同町沖合三哩の地点に出漁  
作業中突然烈風に襲はれ乗  
組員同町渡邊善之助(三)は  
海中に墜落行方不明となり  
目下捜査中

### 中村齒科醫經歷

今同町鍛冶町吉田屋呉服  
店西隣りに齒科醫を開業し

中村文一氏は新發田中學  
校を卒業の後東京齒科を優  
良な成績を以つて終へ暫ら  
く五丁目遠藤齒科醫院に於  
て實際の治療に従事し既に  
其の卓拔なる技術を知られ  
て居た人であつて佐藤警女  
教諭の令閨の實弟に當つて  
居る

### 石城郡出 身在滿兵 團體募集

### 慰問金叩

### 本日現在

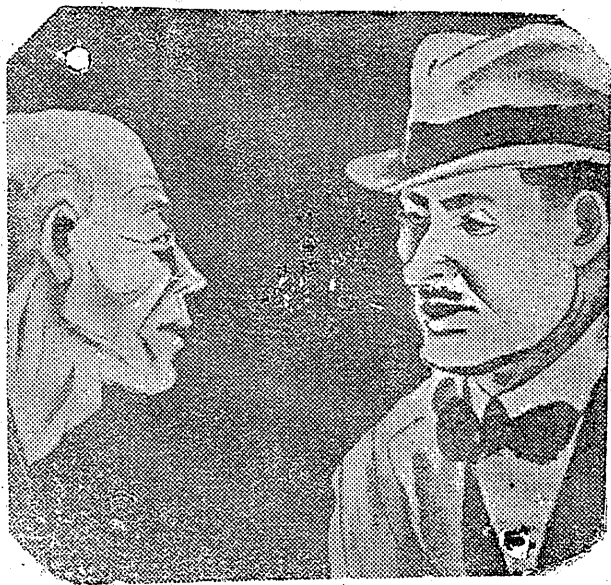
- 長橋拔 (三圓) 小野園
- 次郎 (二圓) 關内半平 關與
- 三郎 桑原整骨院 (一圓五
- 十錢) 山内武夫 (一圓) 木田
- 喜一郎 山田榮松 佐藏道
- 男 吉村清藏 渡邊大輔
- 關内信二郎 竹原次英 龜
- 岡キヨ 遠藤松之助 小野
- 里吉 小野正二 清野彦四
- 郎 川角兼吉 吉田直之助
- 中村チエ 荒川銀治 五十
- 嵐照子 (五十錢) 寒風澤庄二
- 郎 高木信司 植頭キイ
- 桑原整骨院
- 松本光子 金成菊二郎 渡
- 邊松次郎 今宮清吾 位川
- 朝壽 酒井ヒロ 澤正路
- 渡邊三四 加藤房太 平井
- マス 遠藤柳之助 江川市
- 藏 小富宗一郎 小幡留次
- 猪狩實 正木槍太 加澤ヨ
- ウ 岡部作松 (三十錢) 和出
- 熊吉 渡邊善祐 鈴木次郎
- 酒井フジ 大谷健一郎 小
- 林市太郎 (二十錢) 田久フク
- 高子トキ 梶多ハツ 興津
- 化四郎 深谷仙郎 佐藤竹
- 藏 菅野長助 佐藤リッ
- 石田吉五郎 赤波謙二 谷
- 澤田壽郎 齊藤ハン 正木
- 昌太郎 大阿久清作 太田
- 保衛 磯山三平 中辻正四
- 郎 宮崎信一 松本サツ
- 遠藤林藏 鈴木傳 丸山伊
- 助 泉文次郎 井幡喜七
- 山菅榮之助 鈴木寅次郎
- (十錢) 伊藤重次郎 吉田吉
- 三 管野利三郎 近藤新太
- 郎 須藤子之吉 武井常右
- 工門 若葉ミチ 鈴木ヤク
- (揮百廿本、唐菓子二百五
- 十夕) 桑原整骨院



# 小説 七五郎

【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫



怪しの手紙 (4)  
儀平爺さんは側に行つて  
びよこ／＼お辭儀をした。  
『なあに……もつと上  
げようと思つて又やつて來  
たのだ。が、別荘へ行つち  
やあ不味いからね、ちよい  
と此處まで来て貰つたんだ  
が、どうだい、模様は。』  
鼠の中打帽を眉深に背廣  
の上にセルの外套をつけた  
男が訊ねた。  
それが十文字商會の會計  
係高野熊吉であることは鴉  
天狗と仇名を打たれたその  
奥様の鼻が證明してゐた。  
『えへ、何でもいさますよ』  
と爺さんが話しかけるの  
を

『もつと此方へ、此方へ。』  
と鴉天狗が誘つて欄干の際  
に連れて行つた。そして其  
處に膝んで洋敷を肩に耳袋  
から紙菫を一本取出してく  
わへ込んだ。  
『聞かう。どんな様子だ。』  
『いや、實はねい。旦那、  
あれからいろ／＼と毎日苦  
心を致しまして婆アさんを  
あの時すぐと見届けにやり  
ました。誰もある様子が  
無えちうから、今朝起き  
ぬけに私が出かけてまゐり  
ましたよ。』  
離亭の障子を破つて覗き

見た者があるんでがんです。  
『然うか、然うか、そいつ  
あしめたぞ、だ、誰だ、そ  
れを見たのは……』  
鴉天狗は急に促込んで前  
へ寄つた。  
そして隣りの百姓家の娘  
がその朝爺さんに話したと  
いふ一つの怪事實を聞きと  
つた時に、目をほそくして  
じつと考へ込んだ。  
『何だか一向要領を得たや  
うな得ないやうなあやふや  
な話だね。  
それだけか。お前の手で  
調べあげたのは。』  
『いや、まだ有るだよ、且  
那まあゆつくりと聞きなせ

確にあの時男の影法師が……  
『……』  
『ところがよ、お聞きなせ  
いませ、旦那、爺にも眼  
土瓶にも口、どこから洩れ  
るか分んねえのが内証事で  
變な男が別荘の裏門からあ  
の翌朝早く歸つてい……の

いよ、そをいらだつたつて  
駄目だよ。』  
横濱の野毛坂へ使ひにや  
られたことから、鳥部花子  
といふ家の得体の知れぬ生  
活振り……向ひの下  
駄屋で聞き込……をそれ  
に繼ぎ足して一々事細かに

話した。と、鴉天狗はその  
特有の鼻の下に細かい皺を  
寄せて腕又しながら  
『世帯主が大ハイカラの美  
人であつて、いろんな男や  
女が頻繁に出入する？』  
はてな、どうもこいつあ  
解せない……其家へ奥さ  
んから秘密の手紙？』  
『……』  
この事件は……ふむ。』  
新聞の三面記事で覺えた  
迷宮などいふ形容詞をく  
つつけて、ひとり探偵氣  
分に酔つてゐる。  
『そこでだ、旦那。その家  
から寄越した返事を見れば  
とんな用向だが大略のこと  
が分るべえと思つたで、い  
ろ／＼苦しんだ揚句さ、婆  
さんに仕舞場所を見と、け  
させて置き、俺がこつと  
座敷の掃除をさせる時分に  
そつと持つて越させたよ。』

大塚の 學生靴!!!  
耐久新製品  
編上靴 六〇〇  
半靴 五〇〇  
不安心なるキカイ靴よ  
り、安心得る弊店の靴  
を……

大塚支店製靴部  
電話七七番

井の 手切品 商  
番 八四 三二 八  
三 平 電

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

難波醫院  
平町新川町  
【釜屋新宅向】  
電話五〇二番

冬服貯蓄  
紺色柄物……三ッ揃……拾貳圓  
最新柄 スコッチ……三ッ揃……拾三圓五十錢  
最上紺黒 サージ……三ッ揃……拾六圓五十錢  
高級品 クリスケット……三ッ揃……拾九圓

平町正札堂洋服店 電四三六

セメント 磐城セメント株式會社  
壁用材料  
コルタール 代理店 西村屋藥舖  
ペンキ塗料  
板 ガラス  
平町二丁目電三

御挨拶  
肅啓時下向寒之候各位益々御清詳に涉せられ慶賀  
事に奉存候陳者小生儀今般左記の個所に寫眞館  
開業仕候何卒舊御眷顧御引立に預り度設備技術  
ベストを竭して御用命に應じ度御愛顧の程幾重に  
も奉懇願候 敬具  
追て一々拜趨御挨拶申上可きの處不取敢紙上を  
以て如斯に御座候  
各 位 諸 橋 嘉 吉

◎最新式電機應用の嶄新なる撮影法で  
必ず御満足を期します  
◎晝間夜間共同等の變りなく撮影が出  
來ます  
◎出張撮影も迅速に致します  
◎料金は開店披露のため特別割引致し  
ます

營業種  
平町南町  
寫眞館  
丸新デパート  
サクラ  
寫眞館

均一大賣  
店頭十錢均一の山  
是非御來店を……  
電二一四番